

陽春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で19回を向かえました。
企業訪問を通じて、会員相互の理解の深化に向けた取り組みの一助になればと思います。
今回は2月26日に岡野バルブ製造㈱さんを訪問しました。



田澤 所長からの一言



当社は主に発電所等で必要とされる高温・高圧用バルブを製造する弁メーカーです。当事業所はその納入弁のメンテナンスを目的に昭和52年に開設されました、以降1F/2Fの各設備に設置された弁の役割・目的を理解し保守点検に携り、震災後は主に冷温停止維持に係わる設備で工事を行なっています。これからもこの地で40年以上に亘って培った技術力を生かし、安全第一で迅速に発電所の安定化・廃炉、延いては福島復興に貢献していきます。

福一、福二の安定化に向けた取り組み状況



福島第一原子力発電所では5・6号機の冷温停止機能維持に必要な弁の点検を主に実施しています。



福島第二原子力発電所では1~4号機の冷温停止機能維持に必要な弁の点検、CBM等を実施しています。

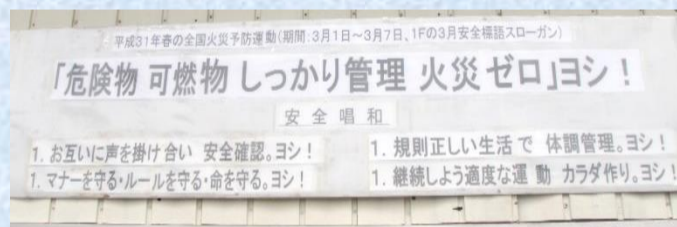
KYTトレーナーによるKY研修会の様子



朝礼時の指差呼称、ミーティング時の様子



「タッチ・アンド・コール」
KYを実践しています。



「危険物 可燃物 しっかり管理 火災ゼロ」ヨシ



ファンタメンタルズを活用した周知、
教育を行っています。

編集後記

発刊に当たり、所長の田澤様、幹事の渡邊様には大変お世話になりました。今回の企業訪問を通じ、現状の1Fにおける作業の困難さや、原子力発電所に設置されている主要弁のメンテナンスに関する、技術・技能の継承についての課題などを伺うことができ、原子力発電に関する技術を維持する意味でも、一日も早いBWRプラントの再稼働の必要性を改めて実感しました。私たちの従事する原子力発電所を取り巻く環境は依然として厳しい状況ですが、企業協議会としても、少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

発行責任者：事務局長 浅川 学
TEL：0240-23-6940
FAX：0240-23-6942

次回(20回)の企業訪問の訪問先は現在調整中です。

